

令和5年度大阪府景観審議会

第3回公共事業アドバイス部会 会議要旨

都市整備部 住宅建築局 建築環境課

開催日時：令和5年12月4日（月）10:00～12:00

出席委員：田中専門委員、林専門委員、若本部長

（大阪モノレール延伸事業（（仮称）松生町駅）について）

○駅下のポンプ室とゴミ置場の色をどうするのか検討されているが、コンセプトの芽吹きや松ぼっくりという考え方よりも、賑わいにつながるよう、駅の下の空間をインテリアとして見て、トータルでデザインされるとよい。

○全体の空間を作る中で、事業課としての思いが説明できるプロセスを経たほうが良い。

○外から室外機が見える等の景観上気になる要素がたくさん出てくると思うので、それらを落とし込んで検討してほしい。南摂津駅の例は、舗装が立派で天井もすかっとしていて綺麗である。小さいものを丁寧にデザインするという姿勢は良いので、引き続き検討してほしい。

○モノレール下の駐輪場は綺麗に整備されている。公共が管理する駐輪場ではサインが多くなるケースもあるが、美しい風景をつくるためサイン計画もよく考えてほしい。

○コンセプトは良いが、結びつくのは外観の色味だけになっており、あまり前回から変化が見られないことは残念。バスやデッキを歩く人などパースに入れて検討されていることは非常に良い。駅周辺の建物や今後建設される建物などに影響を与えられることが景観の本質だと思うので、公共が作る景観の提案として計画してほしい。

○土木構造物全体で、スタイリッシュさや清潔感であったり、もしくは商業施設に付随するので少しポップなイメージであったりと、様々なアイデアがあると思うが、高架構造物は大きくて印象的であるため、どんな印象を与えるかを考えてほしい。

○既存モノレール駅舎下の駐輪場の例は天井が高く、怖さや暗さを感じにくい。感じが良いことが一番大切であるため、ポンプ室等も一緒に考えてほしい。

○利用がホットなスポットはどこになるのかなども押さえた上で、最後にもう一度景観づ

くりを確認してほしい。

(大阪府立こんごう福祉センター改築工事について)

○事業担当部局の方に公共事業アドバイス部会があってよかった点や面倒だと思われたことについて、ご意見いただきたい。

→アドバイス部会での委員からの意見は非常にありがたい。今後の設計にも活かしていきたい。

○最近は公共で植える樹木が民間よりも見劣りするものが多くなっている。民間に負けなような樹木を植えられるとよい。

施設管理において、良い風景だと理解して施設を利用することで、思い描いている風景を保つことができる。良い風景を保つことは安全性にも繋がってくる。

○周辺の自然との繋がりや山のスカイラインなどを活かし、また利用する人のサイズ感をしっかり考えられている。このような考え方をぜひ他の公共事業にも活かしていただきたい。

○東側の散策路部分が良い。

○共用が開始され、利用者からの何か意見などはあるのでしょうか。

→庇の出が1800mmある通路にベンチを置いて利用されているが、通行するには狭いとの声がある。

○竣工後の景観目標の達成にかかるチェック段階では、委員からのアドバイスだけでなく利用者からの意見等を入れていただければ、今後のアドバイスにも活用できると思われる。

○インターロッキングのブロック1個ずつの明度差が大きいので、もう少し明度差を抑えたものを選択するとよい。

○ごみ置き場は、一生懸命考えると良い風景に貢献する。

駐輪場が広いので少し分節して間に樹木を植える、また全体的に樹木を所々に残しておく等を検討するとより一層良かったと思われる。